

# 静岡県原子力防災訓練 を実施しました

静岡県および関係11市町（牧之原市、御前崎市、掛川市、菊川市、袋井市、磐田市、森町、島田市、藤枝市、焼津市、吉田町）は、県内各所で静岡県原子力防災訓練を実施しました。本市の訓練内容をお知らせします。 問い合わせ 危機管理課 杉本 ☎0058

## ①原子力災害合同対策協議会活動訓練（1月28日）

静岡県地域防災計画（原子力災害対策編）、浜岡地域原子力災害広域避難計画、静岡県緊急時モニタリング計画および実施要領などに基づき、緊急時活動レベルおよび緊急時モニタリングに基づく防護対策に係る図上訓練を実施しました。関係機関相互の連携協力体制の強化を図るとともに、計画などの検証を行いました。



## ②緊急時モニタリング訓練（1月28日）

原子力災害時に、環境放射線の状況に関する情報収集などのために緊急時モニタリングを行う要員を対象に、資機材の使用の確認や試料採取の手順の確認を行いました。



## ③避難退域時検査場所運営訓練及び避難経路所運営訓練（1月31日）

東名高速道路浜名湖サービスエリア（下り）において、避難退域時検査場所運営訓練を実施しました。本訓練では、原子力災害時に広域避難を行う際、避難車両や乗員に放射性物質が付着していないか調べる検査、簡易除染などを実施しました。



また、浜名湖ガーデンパークにて避難経路所運営訓練を実施し、広域避難先での住民受付などを検証しました。市内全区から約60人の住民の皆さんに参加いただきました。

## ④要配慮者搬送訓練（1月31日）

相良原子力防災センターにおいて、放射線防護施設の稼働、自衛隊車両およびヘリコプターでの緊急搬送を実施しました。



設備の操作、要配慮者の搬送・引き継ぎなど、一連の流れを確認し、その実効性を検証するとともに、関係機関および社会福祉施設関係者の連携強化を図りました。

## ⑤警戒区域設定訓練（2月2日）

市多目的体育館の防災広場駐車場において、警戒区域設定に至るまでの関係機関との情報伝達手段および立入制限に係る対応などを検証することを目的として、実施しました。



# 地域おこし協力隊の活動

市では平成27年度から、地域課題の解決を目的として、積極的に「地域おこし協力隊制度」を活用しています。「地域おこし協力隊」とは、人口減少や少子高齢化が進む本市に、目的を持って都市部から人材を受け入れ、定住、定着と地域力の維持、強化を図る事業。今年度からは、これまでの「会計年度任用型」に、勤務時間などの自由度が高い「個人委託型」や、隊員期間終了後も事業を継続しやすい「企業等連携型」を加え、隊員の受け入れ体制をより柔軟に整えて、計7人が活動しています。

問い合わせ 地域振興課 小杉山 ☎0053



ほりうちこうや  
堀内虹弥さん

／会計年度任用型

荒廃茶園を転作し、茶農家と共に産地化に取り組んでいる、市発の農産物ブランド「波乗りレモン」を、より多くの皆さまへPRできるよう活動しています。県内外でのイベント出店やSNSをとおして「波乗りレモン」の名が全国へ知れ渡るようPRを行い、一農家として若い世代に農業の魅力を伝えられるよう、地域に根付いて活動していきます。



ジョン・オオモリ・カークさん  
／個人委託型

日系3世の私は、牧之原市が大好きで、昨年3月、この「まち」に移住しました。サーフィンをメインに五輪金メダリストやUSAスポーツ団体とのスポーツ・文化交流を行っています。米国五輪委員会や証券会社勤務の経験を生かし、富士山静岡空港の新たな活用や静岡牧之原茶の輸出などにも力を注ぎ、牧之原市と米国の架け橋になれるよう頑張ります。



こまつまい  
小松舞さん

／企業等連携型

「多文化共生」をテーマに活動しています。食やスポーツを通じて、外国籍住民と地域住民が自然に関わる場づくりに取り組んでいます。「だれでも未来食堂」や、「国際交流フレスコボール体験会」では、世代や国籍を越えた交流が生まれています。また、農泊や地域体験の企画を通じて、牧之原市の魅力を国内外へ発信していきます。



やまもとあやか  
山本綾香さん

／企業等連携型

「外国につながる生徒」の学習・生活支援や教材開発を行っています。また、外国籍住民アンケートの実施・分析と交流イベントを企画し、多文化共生を推進しています。市内にいる外国ルーツの人の声を丁寧に形にし、学びと居場所をつなげて、共に暮らす力が育つ地域をつくりたいと考えます。



まちださきこ  
町田紗希子さん

／企業等連携型

「プリンセスサリー（インド米と日本米をかけた品種）」の栽培・出荷調整・販売業務や、農地や農作物を活用した地域交流活動の企画・実行をしています。耕作放棄地を活用することで農村景観を守る手伝いをしながら、作物を魅力ある商品として認知いただけるよう邁進していきます。牧之原市の可能性を皆さんと一緒に引き出していきたいです。



はったよしろう  
八田吉藏さん

／企業等連携型

静波サーフスタジアムの観光資源を全国および全世界に発信するとともに具体的な集客に結びつく企画・調整・営業を行っています。当施設を気持ちよく利用された国内外のお客様がサーフィンだけで帰るのではなく、牧之原市の味わいや楽しみをたくさん発掘していただけるような工夫をしています。



じゅんこ  
ピアルコフスキー順子さん

／企業等連携型

地域のイベントの企画、運営、観光マップの制作、地域の情報発信（SNS、広報誌、観光施設との連携）を行っています。昨年移住してきたばかりですが愛犬との毎日の散歩を通して、市内には犬と一緒に楽しめる風景や場所がたくさんあると感じています。そうした気づきを大切にしながら、犬連れの方にも優しい観光の形を地域の皆さんと一緒につくっていきたくです。